

- ・体験フィールド施設や宿泊施設の環境整備に関する課題整理～インバウンドやワーケーションを視野に入れた取り組みを行っている。
- ・体験プログラムの再開に伴う資源調査やプログラム検討～新たな体験プログラムの実証実験を重ねて、ニーズにあったものを確立していく。
- ・入谷地区の農産物を活用した食メニュー開発～地場産80%食材を使用した里山ランチの開発に取り組み、地域でも注目されるようになった。
- ・整理した食・滞在・体験等のプログラムへの付加価値の検討～イベントや会合の機会を設け、垣根を超えた連帯感ある地域づくりを目指している。

宮城県南三陸町



【採択年度】
令和3年度

【事業実施期間】
令和3～4年度

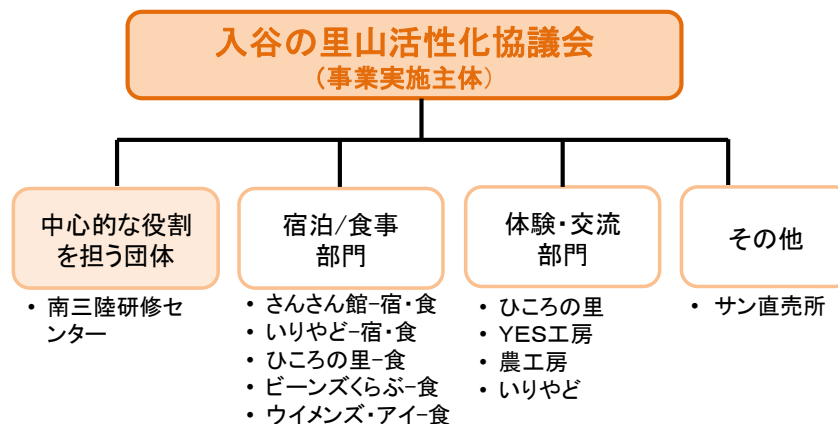


入谷地区里山の風景



入谷の代表的な施設
ひころの里松笠屋敷

【実施体制】



【特徴的な取組】

・入谷地区は、自然の恵みや伝統文化を活かした学びの場の提供や交流促進、観光人口・交流人口の増加を目的に、農体験やモノづくり体験、調理体験などの体験プログラムの開発に取り組み、グリーンツーリズムにも力を入れてきた。また、民泊による生活体験も盛んに行われている。(コロナ禍の影響により減少している。)



農業体験



郷土料理



グリーンツーリズムの宿
さんさん館

【取組内容】

○地域づくり勉強会 & 人材育成

- ・ワーケーションセミナー(12/22)
- ・里山活動事例上映会(1/18-4作品)
- ・広葉樹管理講習会(12/11-12)
- ・生業景セミナー(2/22)
- ・半農半Xワークショップ
- ・GTインストラクター育成スクール(11/30-12/3)
- ・GTコーディネーター育成スクール(3/22-25)

○地場産80%食材を使用した里山ランチの開発

- ・竹皮容器を使用した「もみじ弁当」(913個販売)
- ・竹皮容器を使用した「春告げ弁当」(976個販売)

○新たな体験プログラムの実証実験

- ・組んでバラせる木製ジャングルジム・木育イベント
- ・芋掘り体験及び焼き芋体験
- ・食の体験プログラム(ウツプランク・ホットサンド他)
- ・朝の散歩コース開発(いりやど・さんさん館コース)
- ・小学生春のアート展(3/2-6ひころの里松笠屋敷)
- ・民話語り部を聴く会(3/2-4ひころの里松笠屋敷)

○農泊モニター事業

- ・ワーケーション実証実験(12/21-24、1/17-19各2名)
- ・里山里海モニターツアー(参加者10名)
- ・神社清掃プログラム(11/10→高校生35名参加)
- ・芋掘り体験(11/18→中学生40名参加)



各種勉強会



里山ランチ開発



民話を聴くイベント



神社の体験学習

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約